

第3回夢追い長島花フェスタ閉幕

3月30日に開幕した第3回夢追い長島花フェスタが5月6日閉幕しました。

38日間の期間中、町内外から11万8千人（主催者発表）が長島を訪れ、会場となった長島サンセットの丘や川床ふれあいの郷では連日多くの来場者でにぎわい、長島路を花いっぱいに彩った「ぐるっと一周フラワーロード」など春の長島を満喫しました。

期間後半のゴールデンウィーク中は、町の玄関口、黒之瀬戸大橋付近で渋滞となり、数回信号待ちするなど、町内は活気に溢れました。道の駅「黒之瀬戸だんだん市場」などは連日観光客でいっぱいとなりました。

期間中は、13のさまざまなイベントが実施され、最終日前日の、こどもの日は、長島サンセットの丘会場で「ちびっこフェスティバル」が開かれ、午前10時のオープン前から続々と家族連れが訪れました。会場では金魚すくいやスーパースポールゲームの出店が立ち並び、子どもも大人も一緒になって楽しみ

ました。このほか、ゲーム引換券と同時に配布された抽選券による抽選会も行われました。景品の1等に人気ゲーム機、特別賞の自転車、2等から6等までは長島町商工会商品券などを含む合計40本の賞品が用意されました。見事抽選に当たった子どもたちは大喜びの様子でした。川床ふれあいの郷の花畑に来場した観光客は、オープンしたばかりの「花カフェ長島」で、獅子島産の甘夏を使用した絞ったての生ジュースやオリジナルのお菓子などに舌鼓をうちました。

最終日の5月6日は長島町文化ホールで、第3回夢追い長島花フェスタ閉会式が行われました。

閉会式で前畑詔爾実行委員長は「期間中は多くの来場者が、長島を訪れて大変好評を得た。これからも長島の活性化に力を注ぎたい」とあいさつしました。川添健町長は「花は心を癒す。今後もツワブキと石積みできれいな景観づくりを目指し、産業振興のモデルになることを目標としたい」と関係者にお礼を含



↑子どもたちでにぎわったちびっこフェスティバル



↑金魚すくいを楽しむ子どもたち



↑抽選会で1等が当たり喜ぶ親子